

調査名 樋井川地内(観音橋)橋梁設計委託

調査年月日 63年 6月 17日

調査地点

橋高 11.79 m

63年 6月 18日

ボーリング孔: No.

2

機種

孔内水位(自然) GL-1.90 m

調査責任者

山田和弘

標尺	高さ	層厚	土質記号	土質名	色調	観察記録	標準貫入試験	採取試料・原位置試験
m	m	m				深さ m	打撃回数 10cmごとの 打撃回数 N値	74.4mm過剰質量百分率(%) 0 20 40 60 80 100 N値 0 10 20 30 40 50 60
0						0.00~0.40mmコンクリート 0.40~5.0mmまでは不連続 異り砂	1.15	
1	0.29	1.50		埋土	土褐色	砂は粗粒砂 礫は砂岩礫である	2.45	
2	9.39	2.40		砂混り粘土	青灰	0.50mm前後 粘土は粘性強い 砂は細砂である	11.2	
3	8.39	1.40		砂	炭灰	砂は粗粒砂主体で 粒は不均一	9.2	
4						2.50mm付近より含水多量 2.80mm付近少量の粘土 見られる	24.8	
5							7.7	
6	5.79	6.00		砂混り砂	褐色	砂は粗粒砂主体で 粒は不均一	5.45	
7	4.79	7.00		マサ	褐色	礫は0.5mm~20mm程度 花崗岩礫主体と見られる	8.29	
8						5.50mm付近より二次堆積 マサ状と見する	7.15	
9	2.79	9.00		風化花崗岩	褐色	風化進み粗粒マサ状と見する 9.00mm付近0.50mm 程度の角礫状となる	8.10	

備考

注1: 試料採取方法の記号

T: シンワールサンプラー F: ファイルサンプラー
P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー
D: ディンプルサンプラー

注2: 原位置試験方法の記号